

# ふくい型健康100歳プロジェクト

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	加藤 和彦				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [ 4 安心を高める(地域力) ] 政 策 [ 13 人生100年時代の健康ライフスタイル ]				関連する県の計画等		[ 第4次元気な福井の健康づくり応援計画 ]								
[解決すべき問題・課題] 本県の健康寿命の伸びは全国の伸びと比較して少なく、伸び悩んでいる。 健康寿命の延伸のため、若いころからの丈夫な骨づくりの推進と働き世代の生活習慣の改善が必要。						[問題・課題を表す客観的データ] ・本県の健康寿命の伸び H22~H28で+0.47 (H22 81.43歳→H28 81.90歳) ・全国の伸び +0.99歳 (H22 80.67歳→H28 81.66歳)									
[事業目的] 現役世代からの健康づくりを推進するとともに、人生100年時代に向け、食生活の改善や運動の習慣化など個人の生活スタイルにあわせた健康づくりに取り組む県民のさらなる増加を目指す。															
[事業内容] (1) 凶生100年時代に向けた県民健康調査 (R4) ・県民一人ひとりが健康を意識し、主体的に健康づくりを実践できる環境にするため、国が実施する国民健康・栄養調査、歯科疾患実態調査とあわせ、県で追加的に調査を実施  (2) 地域・職域での健康づくりを推進 ①地域における健康づくり推進 ・大豆・大豆製品を活用したレシピや低塩分で野菜を多く使用したバランスのよい食事を「ふくい100彩ごはん」として広く県民に普及・啓発するとともに、東京大学との共同研究によりフレイル予防に資する食生活を提言 ・わがまち健康推進員リーダー研修を実施し、地域に根ざした健康づくり活動の中核を担う人材を育成  ②職域における健康づくり推進 ・食生活改善推進員が事業所を訪問し、従業員に対し減塩や肥満・やせの予防などの食生活改善を支援 ・健康づくりに積極的に取り組む事業所を「ふくい健康づくり実践事業所」として認定															
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 760,000人									
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ふくい型健康づくり推進プロジェクト (実績) ・健康づくり実践事業所の認定 (67事業所) ・商業施設のウォーキング環境整備 (3施設) ・大豆・大豆製品を活用したレシピ収集 (170種類)					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況	—					他県の状況		—							

# ふくい型健康100歳プロジェクト

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	加藤 和彦	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	20,192	2,969			17,223	国民健康・栄養調査委託料 1,216千円 歯科疾患実態調査委託料 347千円 感染症予防事業費等国庫補助金 1,406千円						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				21,366	20,192	「ふくい100彩ごはん」普及・啓発にかかる委託料の縮減による減						
2月現計予算額の推移				11,373								
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	生活習慣病による死亡数 (人口10万人あたり)	(目標) 182.5人 実績 181.9人	(179.1人) 181.4人	(175.8人)	(172.4人)	(169.1人)	(162.0人)	(162.0人)	令和6年度の目標達成(平成29年度比12.8%減)に向けた目標数 ※H29:185.8人 → R4:169.1人 → R6:162.0人			
活動指標	食生活改善推進員による 事業所訪問活動数	(目標) 実績	(50) 51	(50) 50	(50) 50	(50)	(50)	事業所に対し食生活改善の訪問指導の希望を募り、希望のあった事業所を訪問				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により、県民健康調査の実施を延期</li> <li>・大豆・大豆製品を活用した「ふくい100彩ごはん」レシピの普及・啓発を実施(レシピカード作成、HP・広報誌掲載)</li> <li>・外食・中食・配食における「ふくい100彩ごはん」の認証 204店舗</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民健康調査を実施</li> <li>・新たに東京大学と連携したフレイル予防に資する食生活の調査研究を実施</li> </ul>				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

## 後期高齢者保健事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	加藤 和彦	
事業主体	福井県後期高齢者医療広域連合				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H20 年度 経過年数 15 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/3											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 4 安心を高める(地域力) ] 政策 [ 13 人生100年時代の健康ライフスタイル ]				関連する県の計画等		[ 第3次医療費適正化計画 ]					
[解決すべき問題・課題] 後期高齢者の健診受診率は、第3次医療費適正化計画で県が掲げる目標値(70%)に乖離している状況。 継続的に後期高齢者の健診受診を促進し、病気の発症、重症化を予防し、健康を保持して要介護状態とならないようにすることが重要である。						[問題・課題を表す客観的データ] 令和2年度の健診受診率実績値は33.3%であり、目標値受診率70%と乖離している。						
[事業目的] 後期高齢者の保険者である広域連合が実施する保健事業に対し支援することで、後期高齢者の健康を増進し、健康長寿につなげる。												
[事業内容] 後期高齢者医療被保険者を対象として、福井県後期高齢者医療広域連合が実施する健康診査・歯科健康診査に係る費用の一部を補助する。  1 健康診査 ①補助対象者 県内後期高齢者医療被保険者のうち、生活習慣病治療中の者、日常的な医師の医学的管理を受けている者(施設入居者および長期入院者)は除く ②補助内容 事業にかかる経費のうち、健診受診者数×補助単価(14,529千円)  2 歯科健康診査 ①補助対象者 県内後期高齢者医療被保険者のうち、日常的な医師の医学的管理を受けている者を除いた75歳到達者 ②補助内容 事業にかかる経費のうち、歯科健診受診者数×補助単価(972千円)												
[受益者] 県内の後期高齢者医療被保険者						[想定される受益者数] 18,000人						
前事業の有無・実績		■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況		保健事業の実施主体は、保険者である広域連合であるが、広域連合の体制では事業の実施は困難なため、各市町が実施する事業に対して補助を行っている。 県内のどの医療機関でも健診を受診できる体制整備を支援している。				他県の状況		○健診事業に対する補助実施都県…7都県 東京都、富山県、石川県、山梨県、奈良県、鳥取県、岡山県  ○歯科健診事業に対する補助実施県…5県 富山県、山梨県、奈良県、鳥取県、岡山県				

## 後期高齢者保健事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	加藤 和彦		
事業主体	福井県後期高齢者医療広域連合				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H20 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務			<input type="checkbox"/> 補助金		経過年数		
補助率	1/3								<input type="checkbox"/> その他		15 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	15,501			繰入 15,501				高齢者保健福祉基金					
[予算額の推移等]												(単位：千円)	
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		40,203	42,986	42,660	29,721	15,501	補助額見直しによる減						
2月現計予算額の推移		37,355	41,212	34,015	29,721								
決算額の推移		36,646	38,294	29,015									
前年度までの 主な増減理由	令和3年度 重複頻回受診者の訪問指導事業への補助廃止による減												
[成果指標等の推移]													
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	1人当たり医療費	(目標) -	(目標) -	(目標) -	(目標) -	(目標) -	(目標) -	(目標) -	情勢により変動するため目標の設定が困難				
		実績 919,222	実績 928,265										
活動指標	健診受診率	(目標) (70.0%)	(目標) (70.0%)	(目標) (70.0%)	(目標) (70.0%)	(目標) (70.0%)	(目標) (70.0%)	(目標) (70.0%)	第3次医療費適正化計画期間中(平成30年度～令和5年度)に定める目標値70%の達成 健診受診率=後期高齢者の健康診査受診者数÷健診受診対象者数×100				
		実績 44.4%	実績 46.8%	実績 33.3%									
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価					
健診受診率について、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大により前年度より13.5%降下、第3次医療費適正化計画に定める目標値(受診率70%)と実績値(33.3%)は乖離している状況。				第3次福井県医療費適正化計画に定める目標(後期高齢者健診受診率70%)を目指し、引き続き広域連合を財政支援する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額  14,220		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

## 人生100年時代の歯の健口応援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	加藤 和彦								
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度							
事業実施方法	直営・委託																		
補助率	—																		
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [ 4 安心を高める(地域力) ] 政 策 [ 13 人生100年時代の健康ライフスタイル ]				関連する県の計画等		[ 第4次元気な福井の健康づくり応援計画 ]												
[解決すべき問題・課題] 本県では3歳児より後の年齢で、全国に比べて、むし歯率が高い状況が続いている。3歳児以降のむし歯率を減らすためには、より早い時期からのむし歯予防対策が重要である。						[問題・課題を表す客観的データ] むし歯のある者の割合(R元) 3歳児：14.7%(全国22位) 6歳児：51.7%(全国43位)													
[事業目的] 早期からのむし歯予防対策として、家族みんなで口腔内を清潔に保ち、むし歯になりにくい生活習慣定着への意識改善を促す。また、研修会を開催し、県と市町・歯科医師会で課題や方向性の共通認識を持ち、県・市町・歯科医師会・県民一体となって歯の健康づくりを推進する。																			
[事業内容] (1) ファミリー歯科健診の半年後アンケート実施(県歯科医師会委託) 対 象 者：令和2年度にモデル地域(嶺北・嶺南各1か所)で1歳6か月児歯科健康診査を受診した乳幼児の保護者(父親)および出産後子育てに関わる祖父母・曾祖父母で歯科健診およびアンケートを実施した者 内 容：健診受診後(半年後)にアンケートを実施し、意識や行動の変化を評価 (2) ふくい歯と口腔の健康づくり推進協議会 歯科保健施策全体について協議する場として「福井県歯と口腔の健康づくり推進条例(令和3年4月1日施行)」に基づき設置 (3) オーラルフレイル予防等に向けた市町研修会の開催 対 象 者：各市町歯科保健担当者、各健康福祉センター、歯科医師会(県・各支部代表) 内 容：ファミリー歯科健診の実施報告、歯科保健有識者による講演、グループワークによる研修会 (4) 「フッ化物洗口」実施(①②は県歯科医師会委託、③は県で実施) ①保育所、幼稚園等未就学児施設におけるフッ化物洗口の拡大 ②4、5歳児むし歯有病率調査 公的な統計のない4、5歳児のむし歯有病率を調査し、フッ化物洗口の効果について評価 (5) マイナス1歳からのむし歯予防事業(県歯科医師会委託) 対 象 者：母子手帳交付後から出産後1年以内の妊産婦 内 容：母子手帳に妊産婦歯科健診の案内を追加し、歯科医療機関で歯科健診を実施																			
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 約12,000人													
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 マイナス1歳からの歯の健康プロジェクト (実績) 妊産婦無料歯科健診受診率 28.0%(1,486人) フッ化物洗口実施施設 42.0%(133施設)					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)											
市町との連携状況	1歳6か月児歯科健診時に乳幼児の家族に対する受診券やリーフレットを配布し、啓発 母子手帳交付時に妊産婦無料歯科健診の案内を追加 市町児童福祉主管課を通じてフッ化物洗口の実施を呼びかけ					他県の状況		[R2 むし歯のある6歳児の割合(%)] 全国：36.46											

## 人生100年時代の歯の健口応援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	加藤 和彦		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度	事業終了予定年度(見直し年度)	R4 年度	
事業実施方法	直営・委託									R3 年度			経過年数
補助率	-									2 年			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	8,710	1,068			7,642	医療施設運営費等補助金(妊産婦への歯科健診)							
[予算額の推移等] (単位:千円)													
区分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移				14,207	8,710	ファミリー歯科検診事業にかかる委託料の縮減による減							
2月現計予算額の推移				12,122									
決算額の推移													
前年度までの主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	6歳児のむし歯有病率 (%)	(目標) - 実績 47.6	(目標) - 実績 51.7	(目標) - 実績 47.2	(目標) -	(目標) -	(目標) -	計画における数値目標がないため、目標の設定が困難(計画上は「むし歯のない小学生の割合増加(改善)」が目標)実績 R2学校保健統計(文部科学省) 全国44位					
活動指標	フッ化物洗口実施率 (%)	(目標) - 実績 45.6	(目標) - 実績 46.4	(目標) - 実績 42.0	(目標) -	(目標) -	(目標) -	計画における数値目標がないため、目標の設定が困難(計画上は「むし歯のない小学生の割合増加(改善)」が目標)実績 実施率=実施施設(133)/全施設数(317)=42%					
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価					
6歳児のむし歯有病率低下 R1 51.7% → R2 47.2				ファミリー歯科健診事業の歯科健診および歯科保健指導実施廃止				<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の見直し <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> その他	見直し額		
										5,497			

## 人工腎臓装置不足地域設備整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	加藤 和彦	
事業主体	はるそら内科クリニック、公立丹南病院				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/3											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 4 安心を高める(地域力) ] 政策 [ 14 いつでもどこでも安心の医療・介護・福祉 ]				関連する県の計画等		[ 第7次 福井県医療計画 ]					
[解決すべき問題・課題]  福井・丹南・嶺南が人工腎臓装置不足地域となっている。						[問題・課題を表す客観的データ]  二次医療圏域の透析患者数を当該圏域の人工腎臓整備台数で除した数が2以上→不足地域 (医療提供体制推進事業費補助金交付要綱より) ⇒奥越医療圏以外は不足地域(福井2.1 奥越1.7 丹南2.4 嶺南2.5)						
[事業目的]  人工腎臓装置不足地域に人工腎臓装置を整備し、透析患者に対する治療の充実を図り、透析医療の地域格差の解消を図る。												
[事業内容]  ○補助対象 透析医療を行う医療機関  ○整備内容 新規、増設、新規または増設と同時に行う更新  ○補助率 1/3 (国庫10/10)  ○整備計画 丹南病院 透析用監視装置：5台、 はるそら内科クリニック 透析用監視装置：20台、透析液供給装置：1台  ○補助額 7,076千円												
[受益者] 透析患者						[想定される受益者数] 約1,700人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	—					他県の状況	全国において実施					

## 人工腎臓装置不足地域設備整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	加藤 和彦	
事業主体	はるそら内科クリニック、公立丹南病院				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	H23 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/3											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	7,076	7,076				医療提供体制推進事業費補助金						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		0	4,608	0	0	7,076	人工腎臓装置増設等医療機関 0→2に増加のため					
2月現計予算額の推移		0	3,329	0	0							
決算額の推移		0	3,329	0	0							
前年度までの 主な増減理由	人工腎臓装置増設等医療機関の増加のため											
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	不足地域の解消（二次医療圏）	(目標) (1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	奥越医療圏以外は不足地域であり1医療圏でも不足を解消する			
	実績	0	0	0	0							
活動指標	人工腎臓装置設置台数	(目標) (0)	(4)	(0)	(0)	(26)	-	-	R4 はるそら内科クリニック、公立丹南病院整備予定数			
	実績	0	4	0	0							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
前年度実績なし				人工腎臓装置増設等医療機関を増やす				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		